

第2回「北海道新幹線札幌延伸に伴う鉄道物流 のあり方に関する有識者検討会議」資料

2024年3月22日（金）

日本郵便(株) 輸送部

日本郵便の輸送ネットワーク

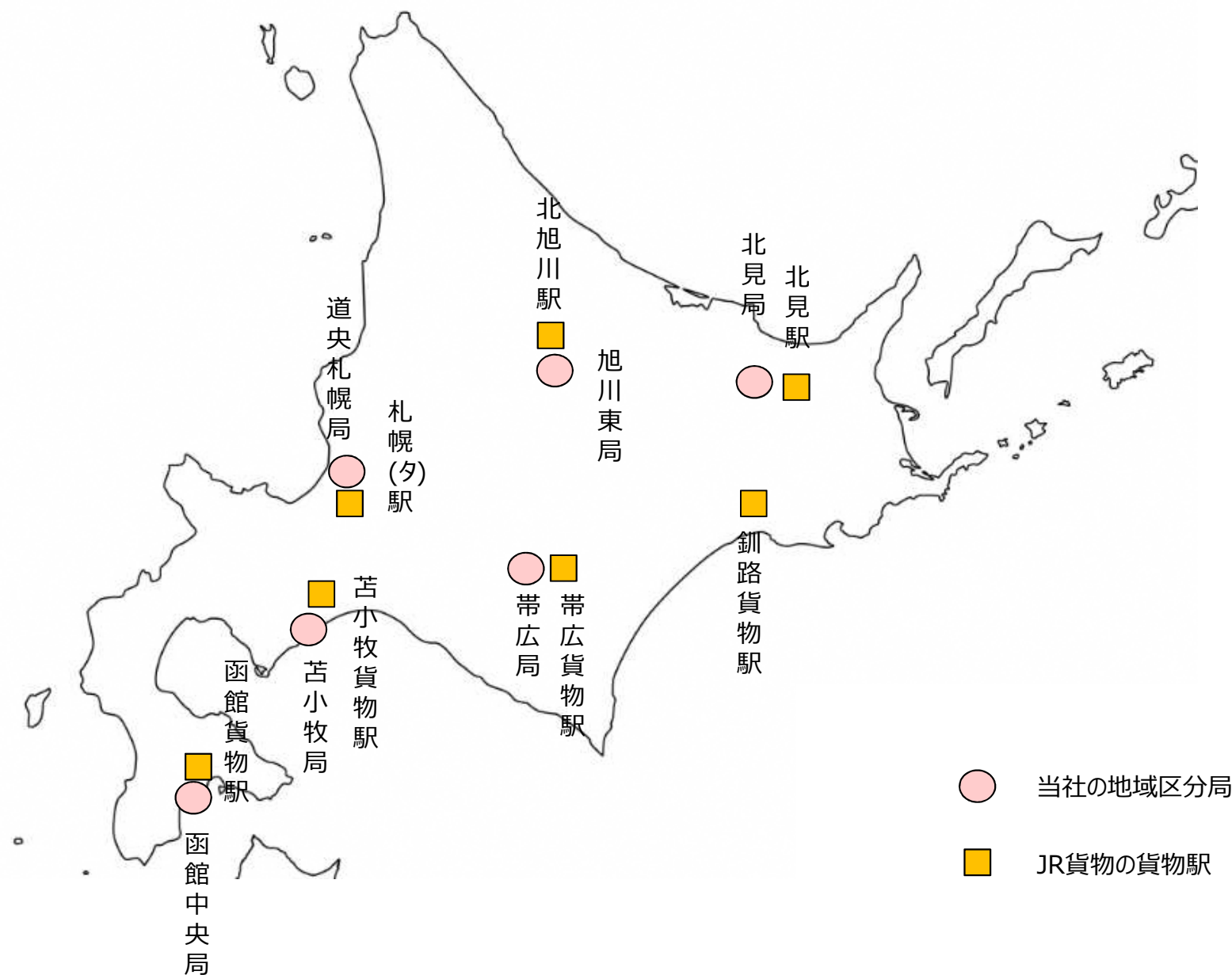
ハブ＆スポーク方式

幹線輸送についてはその大半をトラック利用



⇒ 幹線輸送のトラックについては、協力会社による執行比率が高い

当社の地域区分局（ハブ局）とJR貨物の貨物駅



当社における鉄道コンテナ便の利用状況

鉄道コンテナ輸送について



【契約関係】

- ・ 鉄道コンテナ輸送に関する運送委託契約については、発地側の通運事業者と鉄道輸送区間も含めた一貫輸送契約を締結。
(受託した通運事業者が、JR貨物を利用する形態)

【鉄道コンテナ輸送の主な利用方法】

- ・ **鉄道コンテナの主な利用**としては、**遅延承諾を頂いた郵便物等の運送が中心**となる。

※ ゆうパックについては、翌々日配達となるようなエリアでは、一部で利用が可能であるものの、現在のところ利用は限定的

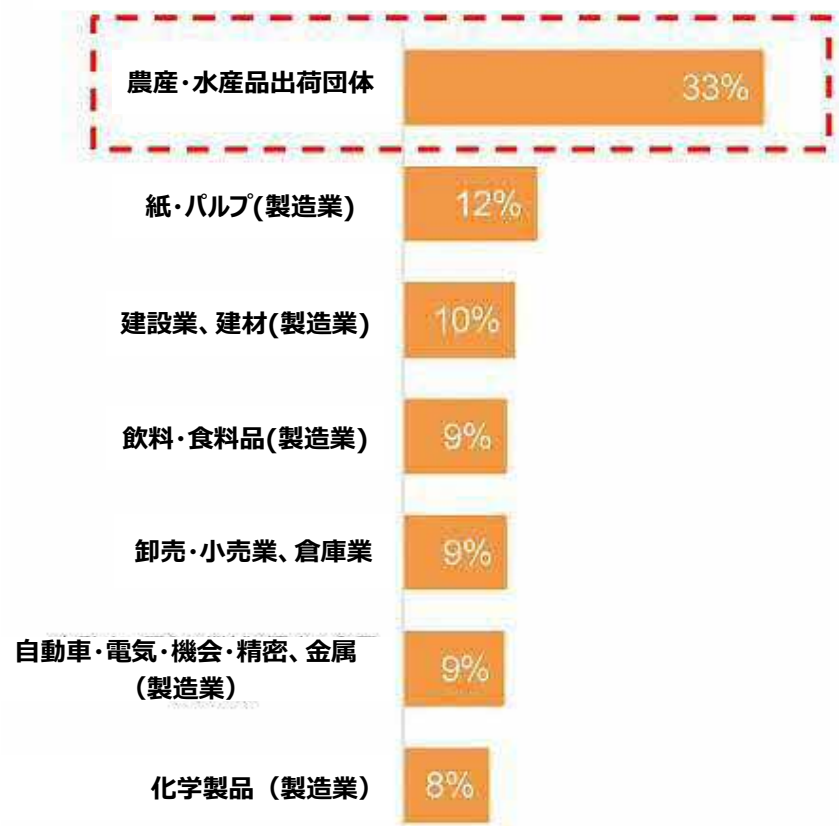
- ・ 当社が利用している**北海道発着の鉄道コンテナ輸送については、その9割が札幌発着**

2024年問題・2030年問題を踏まえた 当社の取組事項

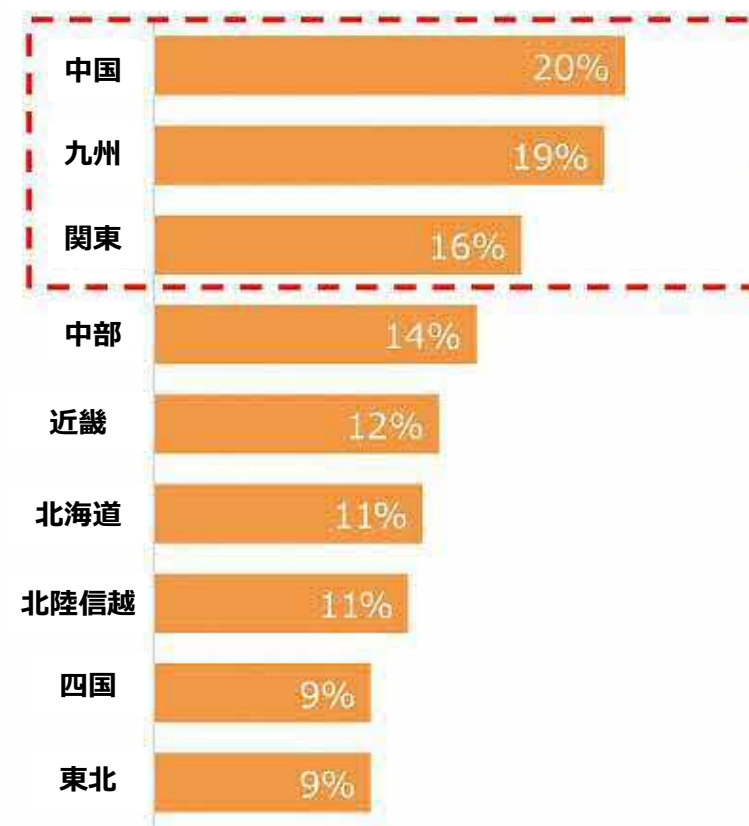
労働時間規制等による物流への影響

- 具体的な対応を行わなかった場合、**2024年度には輸送能力が約14%（4億トン）不足**する可能性。
- 具体的な対応を行わなかった場合、**2024年度には輸送能力が約34%（9億トン）不足**する可能性。

(1) 不足する輸送能力（品目別）（2019年度データより推計）

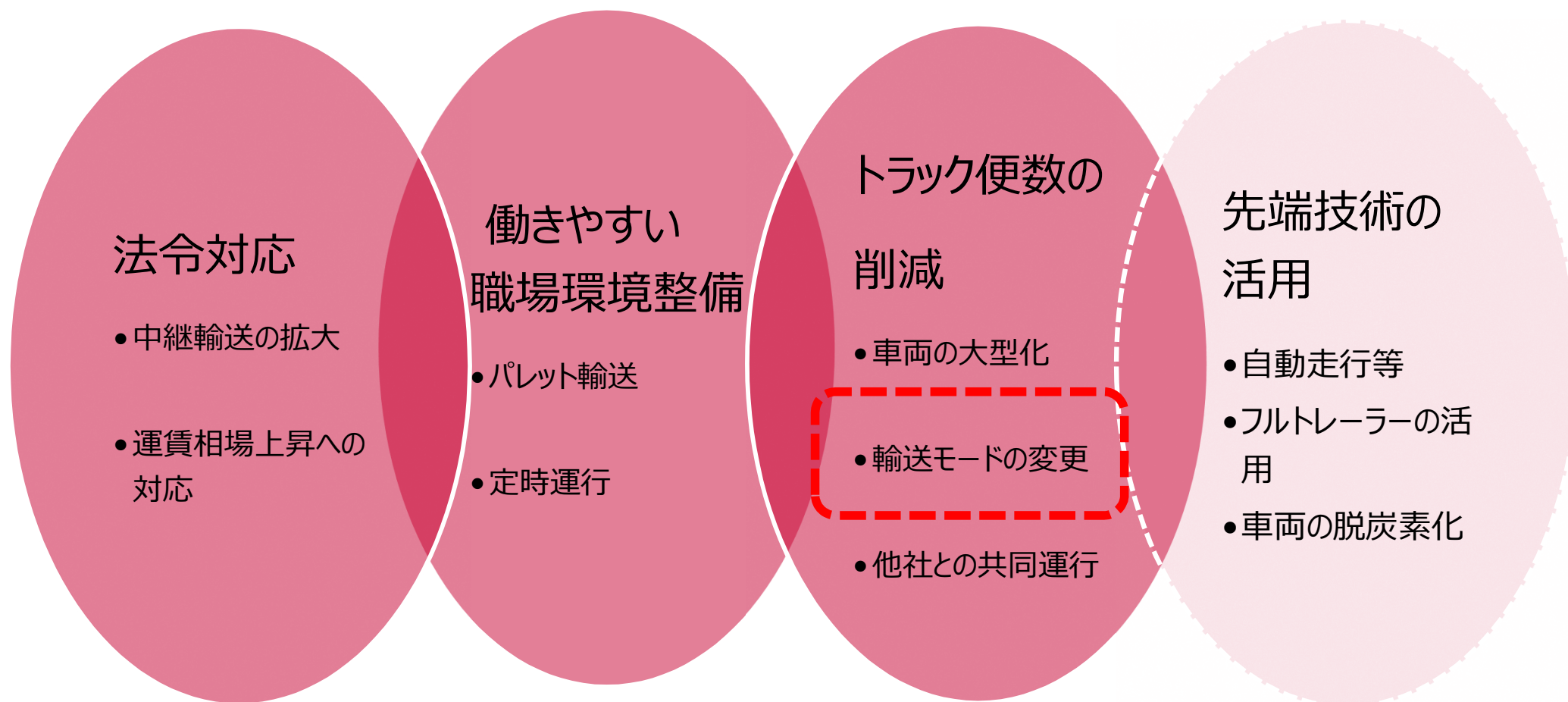


(2) 不足する輸送能力（地域別）（2019年度データより推計）



※ 出典:「物流をめぐる課題と現状について(R5.3.31)」(農林水産省・経済産業省・国土交通省)

2024年問題・2030年問題に向けた当社の取組み



○今後の活用方法

2024年問題と2030年問題の対策として、長距離のトラック輸送を代替する選択肢として鉄道コンテナは必要。

その中で北海道、特に札幌 ⇄ 首都圏間の鉄道コンテナの維持は、重要性が高い。

サービスの送達速度 < 持続可能な輸送方法 が受け入れられるようになれば、更に拡大可能性あり。

鉄道コンテナ便取扱量イメージ

